



新潟教区報 第120号
2018(平成30)年3月1日発行

新潟教区布教団 青年布教使大会 (長岡組聞法会)

長岡組聞法会で若手布教使の育成

長岡組長永寺住職 木曾 隆

日時 平成二十九年十一月二十七日(月) 十四時〜十六時
会場 長岡組長永寺 本堂(参加者四十名)

布教実演 堂谷 弘頌さん(本願寺派布教使・巻組安養寺住職)

洪野 明子さん(本願寺派布教使・新潟組金照寺衆徒)

「浄土真宗は聴聞に極まる」と言われます。法を聞くこと無くして浄土真宗は成り立たない宗教です。長岡組では三十年余春秋の聞法会を続けています。毎回七十名前後の組内各寺院のご門徒住職などがお参りされます。昨年十一月二十七日の秋の聞法会を教区内の若手布教使の育成実践の場としました。

洪野明子さんが「み光に包まれて」と堂谷弘頌さんが「浄土真宗の有難さ」をテーマに聞法会を行いました。平素は県内外のベテラン布教使を招聘して聞いてきました。今回初々しい若手の真剣な法話に聴衆は熱心に耳を傾けていました。布教使は聴聞者に育てられるといえます。布教実践を重ねて少しずつ育てられるのです。このような機会を作ることは大切なことです。なお終了後教区内布教使による意見交換が行われ、辛口の批評も聞かれました。このような研修を通して教区内の布教使が成長して全国に活躍の場を広げられることを願っています。

新潟教区布教団では、若手布教使の研鑽を目的とした青年布教使大会を開催しております。若手布教使の布教実演が可能な、各組での法座・聞法会等ございましたら教務所までご一報下さい。

また、教区主催の青年布教使大会を開催する際は、皆様にお声がけさせていただきますので、お誘い合わせの上、是非ともご参拝ください。

ご理解・ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

『第三十五回新潟教区仏教壮年研修大会顛末記』

巻組組長 教願寺住職 頓所 弘正

日時 平成二十九年十二月二日(土)十三時三十分～十六時
会場 虹のホールゆめじ(参加者百名)

テーマ 「わたしの老・病・死く生を充実させるために」
講師 中村仁一さん(医師・社会福祉老人ホーム「同和園」附属診療所所長)

一年前、巻組執行部の新年会にて、「来年度、巻組は仏壮大会が当たってるんだけど」「え、巻組の単位数って」「N君どうする?」「組の仏壮だけでは・・・」「ご縁づくり部会と合同で実行委員会作る?」

というわけで組内の仏壮連盟・ご縁づくり部会・執行部からなる実行委員会が立ち上がりました。

企画会議席上、「私、長野のビハラー研修会でお話された先生に是非おいでいただきたい」「私もあの先生のお話もう一度聞きたい」「どんなお話ですか?」「お医者さんなのに、医者に頼るなとか」「人間は穏やかに死ねる仕組みがそなわっていると」「面白いですね。最近、病院の延命治療で、残された家族の心の傷が問題になったりしてますし」「なんとという先生ですか?」「中村仁一先生!」

ということ、直接電話で出講依頼、快諾を得て即決。その後紆余曲折を経て日程と会場が決まり、テーマも『わたしの老・病・死く生を充実させるために』に決定。当日、臨床医と仏教徒という二つの視点から、必ず私たちが直面する、介護や終末期医療に関するまさに「目から鱗」のお話をいただきました。また、同じく家族や世代間交流をテーマに組で取り組みを進めている『巻組フェスティバル』を併催。ご参加・ご協力頂いた皆様と、有難いひとときを共にすることができましたことを、心より感謝申し上げます。



研修の様子

『第二十回新潟教区平和を誓う念仏者のつどい・全戦没者追悼法要』

社会実践部会員・長岡組了覚寺門徒 西山謙介

日時 平成二十九年十二月六日(水)十三時三十分～十六時三十分
会場 本願寺新潟別院(参加者六十三名)

テーマ 戦争を回避するための平和的提言く私たちにできることく
講師 有田 純也さん(新潟県平和運動センター事務局長)

二〇一七年十二月六日、本願寺新潟別院において、「戦争を回避するための平和的提言く私たちにできることく」をテーマに、平和を誓う念仏者のつどいを開催しました。

この「つどい」は、「御同朋の社会をめざす運動」新潟教区委員会・社会実践部会で企画・運営したものです。教区内の各寺院から僧侶・門徒の皆様四十四人、「つどい」の趣旨に賛同された一般市民の皆様十九人が参加しました。

「つどい」では、まず、すべての戦争犠牲者の方々を追悼する戦没者追悼法要を執り行い、つづいて、新潟県平和運動センターの有田事務局長よりご講演をいただきました。

現在の憂慮すべき国内外の情勢の中にあって、改めて浄土真宗の教えに立ち返り、非戦・平和の取り組みを進めることこそ、私たちの歩む道であることを確認できる「つどい」となりました。



全戦没者追悼法要



講演の様子

「埋もれることなく」

与板組隆泉寺住職 上戸 聰

この冬は例年にならない豪雪となりました。毎日毎日、何時間も除雪をする日々が続きました。夕方きれいにしたはずなのに、朝になると埋まっています。面倒ですが、やらないわけにはいきません。次々に積もる雪と向き合いながら、有名な逸話を思い起こしていました。

しゅりはんどく

釈尊のお弟子に周利槃特という人がいました。一生懸命に修行に励むものの、お経の一文を覚えることもできませんでした。著しく記憶力が乏しく、ついには自分の名前すら忘れてしまっただけでした。そこで自分の名前を書いて首にかけていました。

しかし、かけていることすら忘れてしまったそうです。余談で

にな

みょうが

みょうが

すが、名を荷うということから「名荷」となり、「茗荷」という植物が同音であることから、「茗荷」と「物忘れ」が結びついて語られるようになったそうです。

そんな周利槃特に釈尊は一本の箒を与え「塵や垢を除かん」と唱え、まわりを浄めることにのみ努めるように勧めました。

やがて「汚れが落ちにくいのは人の心も同じだ」と悟り、ついに仏教の教えを理解して聖者となられた、と伝えられています。

ほんのう

私の心、煩惱の心、そのままがいいと放っておいたら雪のように埋もれてしまい、知らず知らずのうちに、自らを傷つける人を傷つけることになってしまいます。

阿弥陀さまの、なんとしてもあなたを救わなくてはならない、放っておくことができないという願いにあぐらをかいているのが私の姿かもしれません。阿弥陀さまに願い照

らされている、わが身を振り返りつつ歩んでまいりたいものです。



「新潟教区布教団研修会」報告

新潟教区布教団副団長 与板組光源寺住職 清水 正朋

日時 平成三十年一月二十二日(月)十四時三十分～十六時三十分

会場 本願寺新潟別院(参加者二十二名)

講師 安方 哲爾さん(本願寺派布教使・大阪教区)

布教実演 宗村 泰行さん(本願寺派布教使・三条組至徳寺衆徒)

雲林 重正さん(本願寺派布教使・与板組浄秀寺衆徒)

木曾 隆さん(本願寺派布教使・長岡組長永寺住職)

新潟教区布教団研修会が、平成三十年一月二十二日(月)、新潟別院を

会場に開催された。ご講師として、かつて本願寺派勸学寮部長や布

教使課程専任講師をご経歴され、本願寺派輔教でおられる大阪の安方

哲爾さんをお迎えした。

テーマは、現場に即したもので、「年忌法要における法話の組み立て方」

についてご指導をいただいた。研修のスタイルは、教区内の若手・中堅・

ベテランのお三方から実演法話をいただいて、その法話を通して、参加

者一同が学習を深めた。

ご講師からは、お通夜や一周忌・三回忌の法要では、参詣者の心情と

して、亡くなられた方との死別の悲しみが鮮明であることを考慮すべき

である。僧侶は死の現場に多く携わるから、注意しないと死別の悲しみを

軽視する嫌いがある。緊張をもって法話づくりに臨みたい。またその

態度が聴衆に伝わる。ひいては法話を聞いていただける信頼関係にもつ

ながる。十分程の法話であるから、テーマは一つにしぼる。阿弥陀仏の

お救いが、現に我々の上にあることを伝えるのが法話である。等々、短

時間ではあったが、直球のご指導をいただいた。最後に団員以外の皆様

からも多くご参加いただけたことが有難かった。

寺院巡り

新潟組 光林寺

住所 新潟市中央区西堀通五番町八五六
電話 〇二五―二二二―八二〇一

慶長の始め、加藤清正の重臣中山五郎左衛門により、会津伊南郷にて建立されたと伝えられています。その後、慶長十二年頃現在地である新潟町西堀に移転しました。

後に西堀の象徴となる柳の木ですが、最初に植えられたのは当地であったそうです。

江戸から明治期にかけて少なくとも三度の大火に遭い焼失、その教訓から大正十四年、当時としては珍しい鉄筋コンクリート造りの現本堂として再建させていただきました。おかげさまで昭和三十年の新潟大火では難を逃れることになりました。当時の住職、ご門徒の英断、御尽力に感謝しております。



光林寺本堂と周辺の街並み

現在では常例会や仏教讃歌、勤行の練習会などへ多くのご門徒さんにお集まりいただき、和気藹々とした雰囲気の中で親交を深め合うと共に、教えを学ばせて頂いております。
新潟古町西堀へお出掛けの際は、駐車場もごさいますのでどうぞお立ち寄り下さい。

〇今後の予定

ご関係の皆様、多くのご参拝、ご参加をお待ちしております
・少年連盟研修会

日時 平成三十年 三月十三日(火) 十四時〜十六時三十分
内容 模擬子ども会の実施・意見交換等

・「部落差別解消推進法」に関する研修会

日時 平成三十年 三月十四日(水) 十三時三十分〜十六時四十分
講師 小川 真理子 さん(一般財団法人同和教育振興会評議員)

・本願寺新潟別院「どんとこいフェスタ」

日時 平成三十年 三月二十五日(日) 十五時三十分〜十八時三十分
会場 本願寺新潟別院

内容 法話・太鼓の演奏・ライブ・夕食交流会等

・本願寺新潟別院御取越報恩講

日時 平成三十年 六月二十五日(月)〜二十七日(水)
講師 安方 哲爾 さん(本願寺派布教使・大阪教区)

編集後記

三月十四日開催の「部落差別解消推進法」に関する研修会は、当初一月三十一日に開催予定でありましたが、豪雪の為、三月に延期とさせていただきます。

この一月下旬から二月中旬まで連日続いた豪雪により、新潟別院は消雪用の地下水が枯渇し、積雪による本堂・庫裡倒壊の危険から、宗門並びに教区内有縁の方々へ除雪作業のご協力をお願いしました。皆様方のご理解とご協力により、倒壊の危険を免れる事が出来ました事、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

平成三十年の新潟別院報恩講のご講師は、布教団研修会(今号記事にて紹介)にご出講いただいた安方哲爾さんです。研修にご参加いただいた方も、そうでない方も是非ご参拝・ご聴聞下さいませよう、ご案内申し上げます。



2月8日駐車場から見た事(寺)務所棟



2月9日除雪ボランティア

ラジオ法話 新潟教区布教団による ラジオ法話

FMながおか 八〇.七 毎週月曜〜金曜

十六時十五分よりの放送中です。

(放送地域は長岡市全域、小千谷市、小国、川口、山古志、出雲崎、見附)

編集/浄土真宗本願寺派 「御同朋の社会をめざす運動」新潟教区委員会 広報部会

〒九四〇―二四〇二 新潟県長岡市与板町与板乙四三五六 本願寺新潟別院内
TEL: 〇二五八七二二二二〇 FAX: 〇二五八七二二二五三六